

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(7/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区 (神奈川県、横浜市、川崎市)	正	3.7	3.5 <u>進捗度</u> ・医療・健康産業の創出に伴う経済波及効果 39% ・医薬品・医療機器の臨床開始から上市までの期間短縮による経済効果 558% ・次世代医薬品・医療機器の新規開発による経済効果 89%	3.8 <u>規制の特例等</u> ・特定保健指導の機会を活用した、加工食品やサプリメント等の勸奨 等 <u>財政支援等</u> ・ヒトiPS細胞・体性幹細胞を用いた医療産業の基盤構築等 <u>地域独自の取組</u> ・神奈川県企業誘致促進融資等	3.8	<p>・R&Dを主体にしている関係上、劇的な効果は出にくいことはわかるが、それにしても効果が出ていない。実績が上がっていない事業については、抜本的な計画の見直しが必要である。</p> <p>・ICTの活用による成果は、金融業等とは異なり、実業においてはデータの解析だけでは無理があるのではないか。</p> <p>・研究開発について着実に進められているが、具体的な事業化や経済波及効果については、政策効果を直接計測する指標で評価することも必要に思われる。</p> <p>・自治体及び民間事業者など関係者の一層の協調・連携を期待する。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。